

社員の思いと地域の思いから生まれた 自然豊かな「三菱『風車の見える丘公園』」

その緩やかな丘に登ると見えるのは、三菱重工製の風車（風力発電実証機）の姿。ここでは、2009年10月、横浜製作所の金沢工場内に誕生した「三菱『風車の見える丘公園』」です。多くの方々に、環境事業に携わる当社を知ってもらうため、そして環境への関心を深めてもらうため、CSR活動の一環としてオープンしました。以来、工場見学や、地域の子どもの体験学習の場として活用しています。また、昼休みに散策をしたり、ベンチで読書を楽しんだり、海を見ながら歓談したりと、社員たちの憩いの場としても利用されています。

この公園をつくるきっかけとなったのが、「工場をもっと緑化し、地球にやさしく、お客様、地域の方、社員が親しめる工場に」という社員の思いでした。この思いに、「風車を間近で見たい」という地域の方からの要望が重なり、「三菱『風車の見える丘公園』」が誕生したのです。公園名は、社内106件の応募の中から選ばれました。当所のシンボルである風車をメインに、横浜の「港の見える丘公園」に敬意を表したネーミングであり、地域の方に親しんでもらえる公園になってほしいとの思いが込められています。

園内には、風車と同じく当社製の太陽電池パネル24枚を設置し、発電された電力を工場の一部で活用しています。また、丘をつくる際に用いられた土の半分は、これまで工場内で発生した建設残土を利用しました。

さらに、園内を歩いていると出合えるのが、さまざまな木々や草花です。例えば、5月に見ごろを迎えるのがツツジやトベラ。その後はサツキ、アベリア、クチナシなどが訪れる人の目を楽しませてくれるでしょう。また、園内の花壇はボランティアメンバーが丹精込めて手



上／園内花壇の草花もボランティアメンバーが選定
下／「三菱『風車の見える丘公園』」竣工式の様子

入れをしており、一年中草花のたえない公園づくりを目指しています。そんなボランティアメンバーからは、「土のぬくもりを感じて田舎を思い出す」「今まで付き合いのなかった仲間と、ひとつの目標に向かって一緒に作業できるのがいい」という感想も。自然と触れ合うことで生まれる爽快感や達成感を存分に味わっています。

また、開園後は多数の工場見学者が来訪されました。見学された方々は、「房総半島まで見渡せる景色や、風車の迫力が素晴らしい」と、その眺めのよさに驚かれています。ほかにも、「藤棚の藤の花を早く見てみたい」「家族を連れてきたい」など、うれしい感想が寄せられました。

この公園を通じて、風車や太陽光発電といった自然エネルギーを生み出す製品をもっと身近に感じてもらいたい。そのために、今後も多くの方々に来訪していただけるよう、一般の方や社員家族の見学会の開催を計画しています。



心地いい風が吹き抜ける公園からは、巨大な風車が眺望できる



公園に設置した太陽電池パネル